

## 令和6年度

一般財団法人 道北地域旭川地場産業振興センター

# 事業報告

### <令和6年度の概括>

令和6年度の我が国の経済は回復基調を維持し、マイナス金利の終了、株価及び物価の上昇、また公示地価上昇率や賃上げ率が33年ぶりの高水準に達するなど、デフレ脱却の兆しが見えた一年であった。

一方で、原油高や円安の進行とともに物価高騰は歯止めがかからず、深刻な人手不足に苦しみ、企業活動と個人消費に更に大きな影響を与えたほか、経済成長は非常に厳しい一年でもあった。

このことは、道北地域においても例外ではなく、厳しい経済状況にはあったものの、旭川市ではユネスコ創造都市ネットワーク会議の開催や、スイス観光賞の受賞など国際化が進展し、旭川空港ーソウル線が復活するなど、今後の地域経済や地場産業の発展に向けた兆しも見えてきたところである。

このような中、当財団においては、財団の設立目的である、地場製品の宣伝、普及等による地場産業の健全な育成と地域経済の活性化に向けた取組を実施し、公益事業の適正な実施とともに収益構造の改善も図ってきたところである。

以下、令和6年度事業計画で示した項目に沿って、各種取組を報告する。

## 第1 公益に関する事業（地場産業・地域振興支援事業）

### 1 施設提供事業

地場企業や業界団体の活動を支援するため、企業等が開催する会議などの場を低廉な使用料で提供した。

収入目標 3,754 千円に対する達成率は 96.4%と、目標をわずかに下回る結果となった。

施設使用料収入：3,618,850 円（前年度 4,122,498 円）

施設利用状況：施設利用状況～別紙1

## 2 地場産品PR事業

### (1) 展示会等開催事業

道北地域の地場産品や地域情報を広く販売・PRする展示会等の機会を創出し、消費者ニーズの把握、地産地消の促進、販路開拓の支援をしながら、地場産業や地域振興に取り組んだ。また、交流のある全国の道の駅の紹介を目的とし、能登半島地震の復興応援企画や、各地の特産品の仕入販売を行った。また、高校生等の「学生応援ブース」や地元農業者団体との併催等、全館あげてのイベントとして魅力向上に努めた。

#### ア 「2024春の地場産フェア」の開催

開催期日：令和6年6月8日（土）・9日（日）の2日間

場 所：センター大展示場及び一部駐車場

出店者数：51社（前年度45社）

売上実績：10,763,961円（前年度11,115,708円）

入場者数：15,156人（前年度16,620人）

本フェアでは、全国道の駅・物産交流コーナーを開設したほか、能登半島地震の復興支援のため「能登の塩すくい取りコーナー」を特別開設した。

#### イ 「2024冬の地場産フェア」

開催期日：令和6年12月7日（土）8日（日）の2日間

場 所：センター大展示場及び一部駐車場

出店者数：54社（前年度50社）

売上実績：12,919,231円（前年度11,805,934円）

入場者数：12,786人（前年度15,246人）

本フェアでは、管内6道の駅による特産品の販売を行ったほか、道の駅交流事業として道の駅おかべと連携し「深谷ねぎ」の直火焼き（カルソッツ）を提供した。また、旭川果樹協会が「旭川フルーツフォーラム2024」を併催し、旭川産りんご、なし等をPR販売したほか、健活コーナーを開設した。

#### ウ 「2025道北の観光と地場産品フェスティバル」

開催期日：令和7年1月25日（土）・26日（日）の2日間

場 所：センター大展示場

出店者数：45社（前年度43社）

売上実績：6,944,098円（前年度6,688,844円）

入場者数：9,342人（前年度11,688人）

本フェスティバルでは、あったか旭川まん記念日イベントとして9種

類の旭川まんを販売したほか、上川・宗谷・留萌の観光スポット紹介コーナー「道北の観光展」を併催した。

(2) 「北の恵み 食べマルシェ」事業

「北の恵み 食べマルシェ」実行委員会事務局が地場産センターに置かれ、その事務局長及び事務局員の職務を兼務しながら事務局の中核を担い、多彩で豊かな道北地域の食産業及び食文化の創造・発展・発信に寄与した。

会 期：令和6年9月14日(土)～16日(月・祝)の3日間

会 場：旭川駅前広場、旭川平和通買物公園、七条緑道、JR旭川駅

出店店舗数：254店、来場者数：879,000人

売 上：198,169,445円

### 3 道の駅事業

(1) 基本的な取組

(一社)旭川物産協会及び売店、フードコート各テナントと連携し、それぞれの商品やメニューの魅力アップ、情報発信に取り組むほか、旭川観光コンベンション協会の協力のもと、観光案内コーナーを設置し、道の駅利用者の利便性の高い施設運営に努めた。

売店では、商品の入れ替えや四季に合わせたレイアウトの変更を実施するなどして、魅力度・認知度及び集客の向上を図った。

来館者数：707,944人(前年度708,109人)

年度別入館者数推移～別紙2

売上額：366,942,241円(前年度336,169,222円)

なお、観光案内コーナーの設置状況は次のとおりである。

期 間：令和6年4月～令和7年3月、活動日数155日(前年度159日)

協 力：(一社)旭川観光コンベンション協会、旭川観光ボランティア協議会

対応件数：延べ9,905件(前年度9,917件)

(2) その他

ア 北海道地区「道の駅」スタンプラリーへの参加

期 間：令和6年4月～令和7年3月

応募者数：当駅での応募者数424件

(前年度 当駅 441件(R5.4～R6.3))

イ 会議関係

上川中南部地域「道の駅」連携会議への参加

道の駅南ふらの等で8回開催

## 第2 収益事業

### 1 貸館事業

大展示場等の利用拡大を目指し、継続利用者の定着や積極的な営業活動による新規利用者の開拓を行うことで、使用料収入の増収、確保に繋げるとともに、地場企業や地場製品のPR並びに消費者の誘導と地域経済の活性化に取り組んだ。

大展示場利用率60%以上、施設使用料収入(大展示場及び貸事務所)44,338千円の目標に対し、達成率は104%となった。

施設使用料収入：46,206,718円(前年度43,621,326円)

施設利用状況：施設利用状況～別紙1

大展示場利用率：52.5%(前年度53.0%)

大展示場利用件数：80件(前年度72件)

なお、スポーツ利用への貸出実績は以下のとおりであるが、使用料収入は上記の施設使用料に含み、利用件数は上記件数の外数とした。

主な利用者：旭川商業高等学校、旭川東高等学校、大雪ボーイズ(少年野球)

利用件数：59件(前年度45件)

### 2 取引斡旋事業

地場企業と連携して季節毎(春企画、中元期、歳暮期)のカタログによる地場製品の宣伝普及と販売に努めた。

また、大手企業との連携を強化及び地域商社機能推進業務による全国道の駅等との交流を進めた。

売上実績：40,374,553円(前年度32,893,737円)

販売先：トシン・グループ、G7食品ジャパンフードサービス、旭山動物園くらぶ、ふるさと納税(さとふる・JT B)ほか

### 3 地域商社機能推進業務受託事業(旭川市受託事業)

道北地域の地場企業を対象とした販路開拓支援機能の構築を目的として、道外の道の駅との相互交流や大手企業の福利厚生部門への営業等による市場形成に向けた取組を推進した。

実施期間：令和6年4月1日～令和7年3月31日

取扱事業者：65社（前年度 61社）

取扱品数：600点（前年度 309点）

販売金額：16,679,169（前年度 14,528,211円）

受託事業収入：2,196,000円（前年度 1,999,140円）

交流道の駅等

・四季の郷公園（和歌山）、つるた（青森）、世羅（広島）など道の駅23箇所（前年度 22駅）

・三井住友海上（福利厚生販売）、NEC（福利厚生販売）、みずほ銀行（社員食堂）ほか

#### 4 創造拠点運営事業（旭川市補助事業）

旭川市チーフデザインプロデューサーを務める(株)KESIKI と連携し「朝ごはん」をテーマに素材の付加価値の向上や他地域との差別化されるオリジナル商品の開発、国内外の観光客に対して「フードフォレストあさひかわ」への認知度を高める取組を実施した。

##### (1) 朝ごはんメニュー開発とお土産品開発

###### ア 旭川の朝ごはんメニューコンテスト等の実施

旭川や近郊産の食材や加工品を使用した「旭川の朝ごはんメニュー」コンテストを実施し、北の恵み食べマルシェにおいてメニューを提供した。コンテスト参加者の地域食材に対する理解を深めるために、地域の食材を知るバスツアーを実施した。

###### ・コンテスト

実施期間：令和6年6月5日（水）から8月30日（金）まで

応募件数：38件

###### ・バスツアー

実施期間：令和6年8月16日（金）

訪問先：旭川あらかわ牧場、たかすタロファームほか3か所

参加者：15名（関係者含む）

###### ・メニュー提供

実施期間：令和6年9月14日（土）から9月16日（月）まで

###### ・表彰式：北の恵み食べマルシェ会場

実施期間：令和6年9月16日（月）

実施場所：北の恵み食べマルシェ会場

イ 「ユネスコ創造都市ネットワーク会議 デザイン都市旭川会議」における朝食提供

デザイン都市旭川会議に参加するゲストに対し朝食メニューを提供し、

反応をうかがった。

実施期間：令和6年10月23日（日）

実施場所：上川神社

ウ 市内宿泊施設における朝食メニューの提供

食を切り口とした地域の魅力向上を目的に、市内宿泊施設において特別な朝食メニューを、宿泊者・観光客に提供するとともにアンケート調査を実施した。

実施期間：令和7年2月7日（金）から2月22日（土）まで

実施場所：和風旅館扇松園（旭川シティホテル懇話会からの紹介）

アンケート回収：99件

## (2) Meets Asahikawa の開催

消費をリードする首都圏民に旭川地域の食の販売・PRし、マーケティング調査を行った。

実施期間：令和7年3月25日（火）・26日（水）

実施場所：大手町タワーB2F「森のプラザ」（東京都千代田区大手町）

参加事業者等：10社

販売実績：1,976,367円

## (3) 基本方針の作成

当財団における食関連産業の支援の方向性を定めるため「旭川地域のフードビジネスに係る基本方針」を策定した。

策定期間：令和7年3月

## 第3 管理運営事業

### 1 一般財団法人としてのガバナンスの向上等

平成25年4月1日付で一般財団法人に移行し、改革の趣旨である法人組織のガバナンスの向上、民の立場から公益の増進に寄与するという役割を果たすと同時に、認可された公益目的支出計画の達成に努めた。

### 2 支出の抑制

令和5年度に引き続き館内照明設備をLED照明機器に交換し、光熱水費の抑制に努めた。

### 3 施設の維持・管理

施設を安全かつ快適に利用できるよう管理、点検、修繕に努めた。

主な修繕等：照明設備 LED 化更新工事（2階照明設備）、受変電設備更新工事、研究開発室（2）（3）壁紙改修工事、男子トイレ小便器改修工事・排水管漏水修繕工事等

#### 4 中期経営計画の推進

中期経営計画に基づく取組を実施し、経営の自立化を目指した健全経営に努めた。

#### 5 事務局体制の強化

事務局体制（令和7年3月31日現在）

・常勤役員（専務理事）1名 ・事務局員9名（再雇用・嘱託職員等含む）

令和7年3月末で正職員1名が退職となることから、令和7年4月採用の新規職員の募集を行った。

#### 6 その他

##### (1) 理事会

ア 令和6年度第1回定例理事会の開催

期 日：令和6年6月7日（金）

議 案：第1号 一般財団法人道北地域旭川地場産業振興センター  
令和5年度事業報告について

第2号 一般財団法人道北地域旭川地場産業振興センター  
令和5年度決算について

第3号 一般財団法人道北地域旭川地場産業振興センター  
令和5年度公益目的支出計画実施報告書について

第4号 一般財団法人道北地域旭川地場産業振興センター  
管理運営規則の一部改正について

第5号 一般財団法人道北地域旭川地場産業振興センター  
令和6年度定時評議員会の開催日時及び場所並びに  
目的である事項について

イ 令和6年度第2回定例理事会の開催

期 日：令和7年3月7日（金）

議 案：第1号 一般財団法人道北地域旭川地場産業振興センター  
令和6年度収支補正予算について

第2号 一般財団法人道北地域旭川地場産業振興センター

令和7年度事業計画について

第3号 一般財団法人道北地域旭川地場産業振興センター  
令和7年度予算について

第4号 一般財団法人道北地域旭川地場産業振興センター  
管理運営規則の一部改正について

第5号 一般財団法人道北地域旭川地場産業振興センター  
処務規則の一部改正について

第6号 一般財団法人道北地域旭川地場産業振興センター  
令和6年度第1回臨時評議員会の開催日時及び場所  
並びに目的である事項について

ウ 令和6年度第1回臨時理事会の開催（書面決議）

期 日：令和7年3月31日（月）

議 案：第1号 一般財団法人道北地域旭川地場産業振興センター  
重要な使用人（事務局長）の選任について

(2) 評議員会

ア 令和6年度第1回定時評議員会の開催

期 日：令和6年6月27日（木）

議 案：第1号 一般財団法人道北地域旭川地場産業振興センター  
令和5年度事業報告について

第2号 一般財団法人道北地域旭川地場産業振興センター  
令和5年度決算について

第3号 一般財団法人道北地域旭川地場産業振興センター  
令和5年度公益目的支出計画実施報告書について

第4号 一般財団法人道北地域旭川地場産業振興センター  
辞任に伴う理事の選任について

第5号 一般財団法人道北地域旭川地場産業振興センター  
辞任に伴う評議員の選任について

イ 令和6年度臨時評議員会の開催

期 日：令和7年3月28日（金）

議 案：第1号 一般財団法人道北地域旭川地場産業振興センター  
令和6年度収支補正予算について

第2号 令和7年度一般財団法人道北地域旭川地場産業振興  
センター事業計画について

第3号 令和7年度一般財団法人道北地域旭川地場産業振興  
センター予算について

- (3) 旭川食品産業支援センターへの参加
- (4) (一社)旭川観光コンベンション協会への参加
- (5) 旭川地域産品マーケティング支援事業実行委員会への参加

## 令和6年度事業報告の附属明細書について

「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する事業報告の附属明細書として記載すべき「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。